

はたちを祝う会

1月7日(日)、野木エニスホールにおいてはたちを祝う会が開催されました。
当日は157名が出席し、夢や希望を胸に新たな門出を迎え、大きな一歩を踏み出しました。
会場のあちこちで、旧友や恩師の方との再会を喜び、思い出話に花が咲く姿や、笑顔で記念撮影する姿が見られました。



はたちを祝う会実行委員会の皆さん



野木中学校



野木第二中学校

(はたちを祝う会代表あいさつより抜粋)
 中学卒業から5年が経ち、一人一人が別の道を歩み、それぞれの道で成長を遂げてきています。「成長」するということは、自分の歩む道を自らが決めることであり、選んだ道に「責任」をもつということでもあると思います。私たちは、これからは、大人として自分の歩む道に責任をもつと同時に、「誇り」をもてるように自己を決定していくことが求められます。自らの意思で未来を切り拓いていけるよう互いに努力していきましょう。
 さて、はたちを祝う会は、人生の節目となる日です。是非、この機会に立ち止まって、自らの歩んできた道を振り返って見てはいかがでしょうか。嬉しいことや楽しいこと、悲しいことや辛いこと等、いろいろなことがあったと思います。様々な経験をし、時には立ちちはだかる壁を乗り越えて今があると感じています。ここまで成長できたのは、家族や先生方を始めたくさんの人の支えがあったこそです。お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝える日にしていきましょう。

「二十歳の誓い」



はたちを祝う会代表
岩本 拓真